

*News Letter* No. 14

2007. 8. 10 発行

発行所：兵庫医科大学歯科口腔外科学講座内  
日本口腔感染症学会〒663-8501 西宮市武庫川町 1-1  
TEL0798(45)6677 FAX0798(45)6679

## 第16回 日本口腔感染症学会総会の開催に当たって

東海大学医学部外科学系 口腔外科

会長 金子明寛

今回の総会は2006年11月に制定された院内感染予防対策認定制度が施行され、初めての総会となります。この認定制度は本学会の原点である大学、病院、開業歯科医師が共に研鑽する本学会に相応しいものと考えます。今回担当させていただきます第16回学術総会で、学会員が待ち望んでいた院内感染予防認定医および院内感染予防対策認定歯科衛生士講習会の第1回講習会となりますので、教育セミナー、本学会開催時に行なわれます第56回ICD講習会につきましても感染予防に関連あるテーマを選びました。朝から夕方まで学会場から離れられない一日となるように企画したつもりです。是非多くの方が横浜、桜木町のはまぎんホールヴィアマールにご参集くださいます様に、願っております。

一般、要望演題ともに多数お寄せください（8月末までをお願いします）。

演題はメールで

あて先：[akihiro@is.icc.u-tokai.ac.jp](mailto:akihiro@is.icc.u-tokai.ac.jp)

C.C : [hanal8@is.icc.u-tokai.ac.jp](mailto:hanal8@is.icc.u-tokai.ac.jp)

## 第16回日本口腔感染症学会総会概要

平成19年11月10日〔土〕

- 要望演題：感染症として歯周病を考える 座長 生田 凶 南 先生
  - 一般演題
  - 教育セミナー〔ランチョン形式〕 阪大病院感染症対策部 副部長 浅利 誠 志 先生
  - 院内感染予防対策認定医講習会 座長 連 利 隆 先生
  - HIV 感染症の歯科治療 神奈川歯科大学 客員教授 池田 正 一 先生
  - 院内感染予防対策認定歯科衛生士講習会 座長 中野 恵美子 先生
  - シンポジスト 溝部潤子さん、内田きよみさん
  - 第56回 ICD 講習会 最新の口腔ケアとは
    - 1) 病院における口腔ケアの実際  
多田美穂子先生（東京歯科大学歯科衛生士専門学校）
    - 2) ICUにおける口腔ケアの実際  
岸本裕充先生（兵庫医科大学歯科口腔外科）
    - 3) 口腔ケアによる口腔細菌叢への効果の実際  
泉福英信先生（国立感染症研究所）
    - 4) 口腔ケアにおける共生細菌の知識  
花田信弘先生（国立保健医療科学院口腔保健部）
- ※ ICD 講習会は ICD 協議会への事前申込が必要です。

## 院内感染予防対策認定制度委員会からの報告

(詳細は JOID の次号に掲載)

第1回院内感染予防対策認定制度委員会が平成19年5月26日(土)午後2.30から神戸チサンホテルで開催されました。以下、要旨を報告致します。

1. 認定制度規則第2章認定委員会 第6条により、院内感染予防対策認定制度委員会委員長に連利隆委員(病院)が、また副委員長に大浦清委員(大学)と吉位尚委員(診療所)が選出された。
2. 認定制度規則第2章認定委員会 第10条により、連委員長から池田正一委員、篠崎文彦委員、隅田好美委員の3名がオブザーバーに指名された。
3. 今回認定の申請14件について審査の結果、認定基準に達していない歯科衛生士の1件を除き出席委員全員一致で合格と判定された。(その後、理事会を経て6月15日に認定が承認された。)

## 4. 本認定制度の対外的活動報告

## ①厚生労働省への訪問(浦出理事長から報告)

平成19年2月22日に浦出理事長、中尾副理事長、吉位専務理事が厚生労働省を訪問した。辻事務次官および鳥山歯科保健課長補佐と面談し、院内感染予防対策は医療の根幹の部分であり、肅々と進めてほしいとの言葉を頂いた。また、本認定制度をPRすると共に、5月開催の本学会スプリングカンファレンスでの「厚生労働省医療安全通知(4月1日)」に関する講演を依頼し快諾を得た。終始真摯で、好意的な対応を頂き、本学会の認定制度について十分認識して頂いた。

## ②日本歯科医師会(連委員長から報告)

平成19年1月31日に連委員長が日本歯科医師会医療安全担当の太田常務理事を訪問した。本認定制度の意義、経緯を説明し、日本歯科医師会としてとくに問題ないとの言葉を頂いた。本学会の学術集会および認定制度は、奇しくも厚生労働省医療安全通知(4月1日)と内容が類似していて追い風となること、本学会が通知の受け皿になれることを強調した。一方、太田先生からは本学会が日本歯科医学会に早く加盟するよう助言があった(現在申請中です)。また、歯科医師会広報を活用して本学会の総会、セミナーの開催を各近隣の歯科医師会にPR掲載するよう勧められ、協力を約束され終始非常に好意的であった。

## ③日本歯科衛生士会(連委員長から報告)

平成19年4月12日(木)に連利隆、吉位尚、中野恵美子の3名で、日本歯科衛生士会会館を訪問し、金澤紀子会長、相川敬子副会長、池山豊子副会長と面談した。

本学会の院内感染予防対策認定制度の趣旨に理解を示され、認定された歯科衛生士にはその地区の指導者としての役割を担って、がんばってほしいとの言葉があった。全国都道府県歯科衛生士会に本認定制度の案内を行う件について、6/17に東京で開催される歯科衛生士業務推進協議会の中で説明する時間を頂戴できることとなり認定制度委員会の歯科衛生士中野恵美子委員が指名された。また、5/30発行分の「日衛だより」に本認定制度の案内が掲載され、さらに本学会が日本歯科衛生士会の生涯研修の指定学会にも承認して頂けるとの感触であった。大変好意的、協力的であった。

④本認定制度について「日本歯科新聞」の取材を受け、H19.4.10発行分に掲載された。

⑤事務局・杉田さんより、歯科医師、歯科衛生士から認定制度についての問い合わせが多く、新入会者数も増加している旨の報告があった。

## 5. 認定規則・細則の修正について。

吉位副委員長により下記の点について説明が行われ、承認された。(なお、歯科衛生士の規則・細則についても同様の訂正である。)

①すでに訂正済みであるが、認定細則第2条2の学会等の発表は「筆頭演者に限る」は「筆頭演者に限らない」に、また、論文等においても「筆頭著者に限る」は「筆頭著者に限らない」とする。

②第2章 第10条の「理事長が本学会理事、評議員の中から選出し、」はミスのため割愛する。なお、歯科衛生士の規則の同部分には誤りはない。

③第3章 第11条 6. の文章のうち「年1回以上」を削除する。

④細則 第9条 認定申請書類の提出期日について、「提出期間を毎年3月1日から3月31日および9月1日から9月30日とする」を明記する。

6. 今後の認定作業について、以下の項目について承認された。

認定審査作業には相当の時間を要することから、認定規則第2章 第7条より今後認定制度委員会の事前審査作業を行なうための作業部会として小委員会開催を考慮する。また、申請書類を事務局から持ち出すことは紛失の恐れがあり、また物理的に困難であることから原則として認定審査作業は事務局内（兵庫医科大学）で行う。

7. 認定審査作業上の問題点について、以下の項目について承認された。

①認定要件のうち、参加の証拠（ネームカード、芳名録、参加費領収証等）を発行しない講演会、講習会、研修会等の取り扱いについて、少なくとも開催案内状、プログラムあるいは配付資料等を所持しており、参加したことが強く推定できれば、当面参加したものとして柔軟に対応する。

②臨床に携わる者の認定申請の提出書類のうち「院内感染予防対策マニュアル」は、大学や病院では各部門を含むため膨大なページ数に達する冊子になっているが、それをそのままを提出する必要はなく、共通部分と歯科口腔外科に関わる部分を中心にまとめることでいいこととする。

③臨床に携わる歯科医師の認定申請の提出書類

のうち「院内感染予防対策活動記録」（過去6回分）とは院内感染予防に関する委員会（ミーティング等）の内容、すなわち議事録を提出して頂くものであるが、これについても単に大学や病院で開催されている施設全体会議としての「院内感染予防対策委員会」の議事録を提出して頂くのではなく、あくまで歯科・口腔外科の診療科内での、すなわち歯科口腔外科診療に関連する活動記録（議事録）の提出を求めるものであること。（なお、病院の「院内感染予防対策委員会」で歯科口腔外科との関連項目、共通項目があり、歯科・口腔外科内のミーティング等で伝達した場合は当然議事としての対象となる。）

8. 認定証について

吉位副委員長より、交付する認定証の形式、サイズ、デザイン等について提案が出され、検討の結果A4サイズの横書きで承認された。

9. その他

今後、本学会主催の学術集会をはじめとする諸行事は、厚生労働省、各歯科医師会、各歯科衛生士会、および必要に応じて各関連団体に案内することで承認された。

日本口腔感染症学会 院内感染予防対策認定制度委員会 名簿

平成 19 年 5 月 26 日現在

	氏名	所属	
委員長	連 利隆	大阪市立総合医療センター 口腔外科	歯科医師
副委員長	大浦 清	大阪歯科大学薬理学講座	〃
〃	吉位 尚	神戸市 よしい歯科口腔外科クリニック	〃
委員	生田 凶南	熊本県天草郡 生田歯科医院	〃
〃	岡部 俊一	東京都江戸川区 岡部歯科医院	〃
〃	河合 峰雄	神戸市立こうべ市歯科センター	〃
〃	岸本 裕充	兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座	〃
〃	小森 康雄	東京医科大学 口腔外科学講座	〃
〃	田口 正博	東京都区新宿区 愛生歯科医院	〃
〃	谷垣 信吾	西脇市立西脇病院 歯科口腔外科	〃
〃	中尾 薫	神戸市 中尾歯科医院	〃
〃	名取 淳	医療法人博悠会名取病院 歯科口腔外科	〃
〃	花田 信弘	国立保健医療科学院口腔保健部	〃
〃	古土井 春吾	神戸大学大学院医学系研究科器官治療医学講座顎口腔機能学分野	〃
〃	森鼻 健史	神戸市 もりはな歯科	〃
〃	森本 佳成	大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座	〃
〃	内田 悦子	財団法人東京都保健医療公社 荏原病院口腔外科	歯科衛生士
〃	中野 恵美子	静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科	〃
〃	溝部 潤子	医療法人社団皓歯会	〃
〃	森本 奈美	安岡 デンタルオフィス	〃
オブザーバー	池田 正一	神奈川歯科大学	歯科医師
〃	篠崎 文彦	愛媛労災病院	〃
〃	隅田 好美	新潟大学歯学部 口腔生命福祉学科	歯科衛生士

【敬称略 委員 50 音順】

## News Letter No. 14

2007. 8. 10 発行

## 日本口腔感染症学会 院内感染予防対策認定医・認定歯科衛生士 第1回認定者

	認定番号	氏名		所属
歯科医師	D1	岸本 裕充	兵庫県・西宮市	兵庫医科大学 歯科口腔外科
	D2	連 利隆	大阪府・大阪市	大阪市立総合医療センター 口腔外科
	D3	竹野之 巖	兵庫県・神戸市	川崎病院 歯科口腔外科
	D4	吉川 朋宏	兵庫県・神戸市	よしかわ歯科医院
	D5	麻柄 真也	兵庫県・加古川市	まがら歯科医院
	D6	名取 淳	大阪府・大阪市	医療法人博悠会名取病院 歯科口腔外科
	D7	谷垣 信吾	兵庫県・西脇市	西脇市立西脇病院 歯科口腔外科
	D8	吉位 尚	兵庫県・神戸市	よしい歯科口腔外科クリニック
	D9	古土井 春吾	兵庫県・神戸市	神戸大学付属病院 歯科口腔外科
	D10	生田 図南	熊本県・天草市	医療法人社団南生会 生田歯科医院
	D11	岡部 俊一	東京都・江戸川区	岡部歯科
歯科衛生士	DH1	中野 恵美子	静岡県・静岡市	静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科
	DH2	森本 奈美	大阪府・吹田市	安岡デンタルオフィス

## 口腔感染症学会・セミナー開催報告

平成19年5月26日(土)神戸チサンホテルにおいて、本学会のセミナー・スプリングカンファレンス in Kobe 2007が184名の参加者をもって盛況に開催され、教育講演と特別講演の2つの講演と院内感染予防対策認定制度の概要説明が行われた。

教育講演では、厚生労働省医政局歯科保健課歯科医師臨床研修専門官の杉戸博記先生に、「歯科診療所における医療の安全の確保—医療法の改正を受けて—」というタイトルで、行政の立場から医療法の改正と歯科診療所における医療安全の課題について詳しく説明していただいた。本年4月1日より医療法の一部が改正され、無床診療所や歯科診療所を含む全ての医療機関に、①医療安全の確保、②院内感染対策、③医療品安全確保、④医療機器安全確保について、指針の作成、委員会の設置、職員研修、報告制度などが義務付けられた。特に院内感染対策について要求されている内容は、院内感染対策マニュアルの文書化や院内感染発生時の対策、職員に対する年2回程度の研修の実施など、本学会認定制度の認定要件とほぼ合致するものであった。従来の医療安全管理は個々の医療従事者の責任や努力に依存してきたが、“人は過ちを犯すもの”であり、医療事故を防ぐためのシステム化した対策が必要であることが認識できた。

特別講演では、兵庫医科大学感染制御学の竹末芳生教授より、「えっ！こんなに違う欧米と日本の

手術部位感染対策」というタイトルで、欧米との違いを含めて術後感染予防の最新の考え方、グローバルスタンダードについてお話いただいた。外科手術における抗菌薬予防投与期間について、米国では3日間(術後2日目)までの投与が全体の85.8%であるのに対して日本では30.4%であることや、4日間(術後3日目)以上の投与により耐性菌感染が増加するなどのデータが紹介された。また、今まで慣習的に行われてきたブラシを用いた手洗いやカミソリによる除毛は、皮膚を傷つけやすく、損傷部に逆に細菌を増加させてしまうなど、エビデンスに基づいて“慣習的な医療の壁を壊す”ことの重要性を再認識できた。

最後に、本学会の院内感染予防対策認定制度委員会の委員長である連利隆副理事長より、院内感染予防対策認定制度の概要説明が行われた。認定制度策定の意義や経緯、認定医制度および認定歯科衛生士制度の規則・細則、申請書類の提出期間(毎年3月1日～31日、9月1日～30日)、申請の際の注意点などについて説明がなされた。詳細については、学会公式サイト(<http://www.jaoid.org>)をご覧ください。

今後も口腔感染症や院内感染対策をテーマに、日常の診療に有益な内容でセミナーを開催していく予定です。多数のご参加をお待ちしております。

(日本口腔感染症学会 編集委員 古土井春吾)